

利用成果報告書

- 1 課題番号 R3-023
- 2 報告者 中村 真男 公益財団法人佐々木研究所
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 膵がん細胞の糖鎖切断を介した抗体医薬増強薬の開発
- 5 使用装置名 Lecica社製TCS SP5 II プリズム分光型共焦点レーザー顕微鏡
- 6 利用期間 令和 3年 11月 10日 ~ 令和 4年 3月 31日

- 7 利用成果・実績の概要 これまで膵がん細胞の細胞表面で切断される膜タンパク質を3種類特定していたが、これら切断膜タンパク質(切断タンパク質)の細胞における局在は不明であった。本研究では、3種類の切断タンパク質について細胞染色を行い、切断タンパク質の局在をTCS SP5 II プリズム分光型共焦点レーザー顕微鏡を用いて可視化解析した。その結果、1種類の膜タンパク質は、切断後、細胞内に取り込まれることを見出した。
- 8 社会・経済への波及効果 膵癌で観られる切断タンパク質を抗原とする抗体医薬を作製することで、新規膵がん治療法の開発や薬物キャリアの利用につながると期待できる。

9 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
酵素学的な糖鎖切断はヒト膵癌細胞株の増殖を制御する	中村真男、千脇史子、佐々木博己、佐々木一樹	日本薬学会第142年会	令和4年3月25日	国内

- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し